

プロジェクト情報

- 国名：コートジボワール
- 事業名：大アビジャン圏社会的統合促進のためのコミュニティ緊急支援プロジェクト（技術協力プロジェクト）
- 協力期間：2013年から2016年
- 相手国機関：内務・治安省、アボボ市、ヨプゴン市

1. プロジェクトの背景・概要

コートジボワールの大アビジャン圏で起きた2010年の大統領選挙後の騒乱は、市民を巻き込んだ暴力に発展し、特に騒乱による直接の影響を受けたアボボ市とヨプゴン市の住民間には極度の不信感が生じました。騒乱の終結後も、両市の住民間の緊張関係は続き、今後の国の政治動向によっては再び騒乱に陥る可能性があります。加えて、両市には基礎的な社会基盤施設の不足や若年層の失業問題などの問題が山積しており、社会的に不安定な状況にありました。そこで JICA は、アボボ市とヨプゴン市において、学校、道路や排水施設などの社会基盤整備事業を行うことで、住民間の対話や協働、信頼醸成を促すとともに、地域住民の雇用や生計向上、生活環境の改善を目的としたプロジェクトを開始しました。また、住民の市行政に対する信頼醸成を図るべく、市役所職員のプロジェクト実施監理能力の強化に向けた支援も行いました。

2. ジェンダー視点に立った取り組み

(1) 意思決定への女性の参画の推進

プロジェクトでは、アボボ市とヨプゴン市において、それぞれ学校整備と道路整備に向けた事業が実施されました。各事業実施地域には、地元住民で構成される合同運営委員会が設置され、住民参加型による事業の計画や立案、実施、モニタリングが行われてきました。この合同運営委員会には女性の参画も積極的に推進されており、事業の選定や計画には女性の声が反映されてきています。また、合同運営委員会には異なる部族や宗教、若者など、多様な属性の住民の参加も促進されたことから、住民同志の交流や信頼が深まるなどの成果も発現しました。

(2) 地元女性に対する雇用機会の提供

プロジェクトでは事業の施工業者に対して、労働者のう

ち一定の割合を地元住民から雇用することを義務付け、住民の雇用を促進してきました。しかし建設工事において未経験の女性たちは雇用されにくいいため、プロジェクトでは、工事着工前に女性たちを含む無職の若者に対して建設工事にかかるスキル研修を実施するなどの取り組みも行いました。この結果、ヨプゴン市の学校整備事業では、地元労働者の約2割が女性によって占められるまでになりました。また、建設作業員としてのキャリアと経験が認められた女性がプロジェクト以外の場でも活躍する機会を得るようになってきています。



女性建設作業員研修

(3) ジェンダー平等のための啓発・研修

プロジェクトでは、地域の事業実施に向けた運営委員会に参加する住民やカウンターパートである市役所職員に対して、ジェンダー視点に立った参加型開発や、コミュニティ開発に向けた能力強化研修も実施し、平和構築の取り組みに向けた女性の参画の重要性についての理解と意識の向上にも取り組んできました。この結果、プロジェクト開始当初は、女性軽視の傾向にあった伝統的部族長を含む地域の男性たちが、地域において女性が果たす社会的・経済的役割について理解をするようになり、地域における重要な会議には自主的に女性たちを招集するようになるなどの事例も見られるようになりました。



このようなプロジェクトの成果を、アボボ市とヨプゴン市以外の地域にも広げるため、2017年10月からは、「大アビジャン圏社会的統合促進のためのコミュニティ強化プロジェクトフェーズ2」を実施しています。フェーズ2においても、ジェンダー視点に立った取り組みを通じて、住民間ならびに住民と行政間の信頼関係の構築に貢献することが期待されています。